

## 10. 2013年度日本数学会賞建部賢弘賞の授賞について

第18回にあたる本賞の2013年度授賞者の推薦募集は、会報147号で行いました（「数学通信」第17巻第3号）。受賞者と業績は次の通りです。（五十音順，敬称略，所属は受賞時点のものです）

### 特別賞

長尾健太郎（名大多元数理助教）：

Donaldson-Thomas 理論と団代数

ブノワ・コリンズ（東北大原子分子材料科学高等研究機構ジュニア PI）：自由確率論とその応用

安田健彦（阪大理准教授）：モチーフ積分と特異点に関する研究

### 奨励賞

小関健太（国立情報学研究所，JST，ERATO，河原林巨大グラフプロジェクト特任助教）：グラフのハミルトン性に関する研究

糟谷久矢（東工大理工助教）：可解多様体のトポロジーと幾何

金子元（日大理工学振 PD）：代数的数のディオファントス近似と Emile Borel の予想

田中公（京大理博士課程 2 年）：正標数における極小モデル理論

谷本溶（東大数理学振 SPD）：作用素環的方法による 2 次元場の量子論の研究

浜向直（東大数理博士課程 3 年）：ハミルトン・ヤコビ方程式の数学解析と結晶成長への応用